

蛍光灯から LED「ランプ交換」にご注意を！

ランプ交換を間違えると



火災



になる場合があります

交換時のポイント

- 1 照明器具に対応した LED ランプを選ぶ(点灯方式に違いがあります)
- 2 点灯管が付いている場合は、必ず点灯管を取り外す
- 3 不明な点は近くの電気店や工事店に相談する
- 4 ランプ交換後も異常がないか確認する

詳しくはこちら
(日本照明工業会 HP)



蛍光灯から LED ランプへの交換は
「照明器具ごと交換」をおすすめしています



水俣条約により、蛍光灯の製造・輸出入は令和9年末で廃止されます。
LED 照明は省エネで CO2 排出量の削減にもつながります。



昭 和 消 防 署
昭和区防火協会・昭和区防火管理者協議会

交換時のポイント！



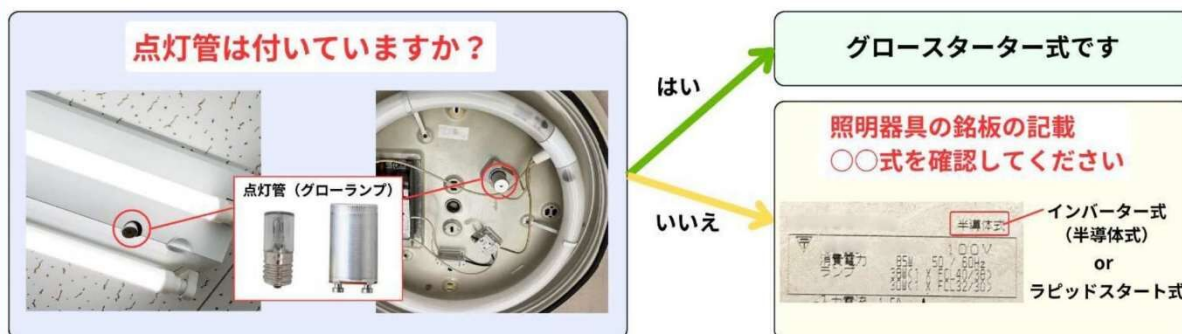
提供 独立行政法人製品評価技術基盤機構

不適切なランプ交換による事故を防ぐポイント

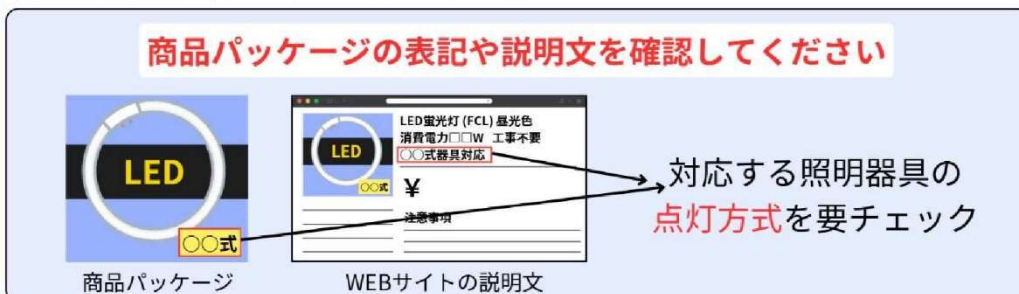
① 蛍光灯器具の点灯方式に応じた LED ランプを選定する。

既設の照明器具のまま蛍光灯を LED ランプに交換する際は、必ず「蛍光灯器具側の点灯方式」と「LED ランプ側の対応点灯方式」が合っていることを確認してください。「蛍光灯器具側の点灯方式」は、点灯管の有無や銘板の記載を確認することで調べることができます。「LED ランプ側の対応点灯方式」は、商品パッケージや説明文を確認することで調べることができます。

■蛍光灯器具側の点灯方式の確認方法



■LED ランプ側の対応点灯方式の確認方法



② LED ランプのパッケージや取扱説明書に記載されている注意事項を守って作業する。

ランプ交換は、必ず電源を切ってから行ってください。通電状態で行うと感電、器具故障のおそれがあります。また、LED ランプのパッケージや取扱説明書等に記載されている注意事項（『必ず点灯前に、グローランプを取り外して下さい。』等）を守ってランプの交換を行ってください。その際、照明器具と LED ランプの組み合わせによっては電気工事士の有資格者による工事が求められる場合もあります。工事が必要な場合や不明点がある場合は、絶対に自分自身での交換作業はせず、販売業者への相談や電気工事業者への工事依頼をしてください。



取扱説明書を確認する様子

必ず点灯前に、グローランプを取り外して下さい。

※グローランプを付けたままだと高熱になり、火事になるおそれがあります。

◀注意事項の記載例

③ ランプ交換後、異常がないか確認をする。

ランプ交換の後は、異常が無いか確認してください。「点灯しない・ちらつきがある」などの点灯トラブルや異音・異臭（焦げ臭いにおい）がした場合は、火災や故障のおそれがありますので、直ちに電源を切って使用を中止してください。



異常が無いか確認している様子